

理工学研究科 ディプロマ・ポリシー

本研究科は“Mastery for Service”を体現する世界市民をめざし、自然科学の基本原則とその応用について先端的研究を行っている。前期課程においては下記に示すように各専門分野における深い知識と研究能力を有する者に修士学位を与える。後期課程においては、下記に示すように各専門分野における幅広い知識・技能を修め、広い視点に立って独立して研究を行う能力を求める。加えて研究成果を学界や産業界等社会へ広く還元する能力を有する者に博士学位を与える。

数理学専攻

(前期課程)

- ・ 数理学領域における基礎理論を修得している。
- ・ 数理学領域において、専門的知識を必要とする課題に主体的に取り組み、解決できる。
- ・ 社会の幅広い分野において専門性の高い職業人として活躍するため、修得した数理学の知識と基礎的研究能力を活用できる。

(後期課程)

- ・ 数理学領域における高度な専門知識および研究能力を修得している。
- ・ 数理学領域において、高度な専門的知識を必要とする研究課題に独立して取り組み、解決できる。
- ・ 社会の幅広い分野において技術者や研究者をはじめとした専門性の高い職業人として国際的に活躍するため、修得した高度な知識と研究能力を活用できる。

物理学専攻

(前期課程)

- ・ 物理学の枢要な概念を理解し、自然現象の解析に応用できる。
- ・ 物理学の多様な専門分野における課題に対して、物理学的アプローチの方法と論理的思考方法を駆使し、主体的に取り組み、解決できる。
- ・ 専門性の高い職業人として活躍するために必要な研究能力と情報発信能力を有する。

(後期課程)

- ・ 物理学に関する深い見識に基づき、新たな課題を発見する能力を有する。
- ・ 物理学の多様な分野において、高度で専門的な研究課題に自立して取り組み、それを解決できる。
- ・ 技術者や研究者をはじめとした専門性の高い職業人として国際的に活躍するために必要な創造力、高度な研究能力、情報発信能力を有する。

化学専攻

(前期課程)

- ・ 化学における専門的知識を必要とする課題に主体的に取り組み、解決しようとする際に要求される基礎概念を理解し、基本的な手法を修得している。
- ・ 選択した研究分野においてオリジナルな研究論文を書くのに必要な知識と研究手法を修得している。
- ・ 選択したテーマについての研究を行い、それを学位論文として纏める事が出来る。

(後期課程)

- ・ 化学における自立した研究者として必要な基本的な能力を身につけている。
- ・ 選択したテーマについて各自の発想に基づいて研究を遂行し、自らの力で学術的な新知見を得、それを学位論文として纏めるというプロセスを経験している。
- ・ 化学の一つの専門分野を深く研鑽することにより修得した、科学的思考とその精神を生かして国際的に活躍できる。

生命科学専攻

(前期課程)

- ・ 生命科学分野の研究を行うために十分な知識と深い理解力を身につけている。
- ・ 専門的知識を必要とする課題に主体的に取り組み、解決できる。
- ・ 国際性豊かな職業人として活躍するため研究成果を英語で公表できる。

(後期課程)

- ・ 国際誌に論文を発表する能力を身につけている。
- ・ 幅広い生命科学領域において、高度な専門的知識を必要とする研究課題に独立して取り組み、解決できる。
- ・ 国際的な技術者や研究者をはじめとした専門性の高い職業人として活躍するための問題解決能力を身につけている。

情報科学専攻

(前期課程)

- ・ 健全な情報化社会の構築に貢献するために、情報科学の幅広い知識と深い理解力を身につけている。
- ・ 幅広い情報科学領域において、専門的知識を必要とする課題に主体的に取り組み、解決できる。
- ・ 修得した情報科学の高度な知識と基礎的研究能力を活用し、専門性の高い職業人として活躍できる。

(後期課程)

- ・ 健全な情報化社会の構築をリードするために、情報科学の幅広い知識と深い理解力を身につけている。
- ・ 幅広い情報科学領域において、高度な専門的知識を必要とする研究課題に独立して取り組み、解決できる。
- ・ 修得した問題解決能力と高度に専門的な知識・思考力・理解力を活用して、技術者や研究者をはじめとした専門性の高い職業人として国際的に活躍できる。

人間システム工学専攻

(前期課程)

- ・ 人を中心とした新しいシステムを創出するための人間システム工学の幅広い知識を修得し、深い理解力を身につけている。
- ・ 人間システム工学領域において、専門的知識を必要とする課題に主体的に取り組み、柔軟に解決できる。
- ・ 修得した人間システム工学の高度な知識と基礎的研究能力を活用し、専門性の高い職業人として活躍できる。

(後期課程)

- ・ 人を中心とした新しいシステムを創出し、新たな価値や産業を確立するための人間システム工学の高度な専門知識を幅広く修得し、専門的な思考力・理解力を身につけている。
- ・ 人間システム工学領域において、高度な専門的知識を必要とする研究課題に独立して取り組み、柔軟に解決できる。
- ・ 修得した問題解決能力と高度に専門的な知識・思考力・理解力を活用して、技術者や研究者をはじめとした専門性の高い職業人として国際的に活躍できる。